



高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで、敬老の集いを開催



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

23年度の町敬老の集いは9月10日、カメリーナで開催されました。町内の70歳以上の高齢者3,969人が招待され、そのうち約1,100人が出席しました。前後公町長、宇月静子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人たちに、記念品の座布団が手渡されました。出席者を代表して、戸田忠義町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。

その後、開催された演芸では、猪苗代幼稚園、猪苗代保育所や町婦人連絡協議会の皆さんが歌や踊りを披露、出席した皆さんの長寿と健康を祝いました。

地域で楽しむスポーツの秋

町民球技大会で猪苗代一が決定!



写真は、新北町対三城瀧の対戦で逆転サヨナラホームランを放った新北町の渡部貴広さん(20)「自分の一振りで決めようと思った」とのこと。



写真は、山湯・田子沼対樋ノ口の対戦。惜敗した樋ノ口チームでは「あのセッターにやられた」という話が打ち上げまで続いたそうです。

町民球技大会の中央大会は9月11日、町運動公園とカメリーナで開催されました。ソフトボール、バレーボールの白熱した好ゲームの様子を写真で紹介しします。成績は学びの泉をご覧ください。

日本一過酷な道のりに挑戦

磐梯高原猪苗代湖マラソンを開催



早朝5時、100キロ、65キロコースのスタート

第6回磐梯高原猪苗代湖マラソン(磐梯高原ウルトラマラソン)は9月3日、町内のホテルリステル猪苗代をスタート・ゴールとし、猪苗代湖周辺を走る3コースで開催されました。

猪苗代湖を1周半回る100キロコースに約260人、1周する65キロコースには約210人、郡山市の舟津公園で折り返す42.195キロコースには約330人が参加。合わせて800人以上が日頃のトレーニングや健康づくりなどで鍛えた自慢の健脚を競いました。

参加者たちは、気持ちのいい初秋の風と猪苗代湖や磐梯山の風景を眺めながら、思い思いのペースでゴールを目指しました。

のど自慢が練習の成果競う

会津磐梯山全国大会が開催される



日ごろの練習の成果を発揮し、熱唱する参加者

福島県を代表する民謡として、全国の人に親しまれている会津磐梯山の全国大会は9月11日、学びいなかで開かれました。

27回目となる今年大会には、ジュニアの部、青年の部、壮年の部と高年の部、合わせて約70人が出場し、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露。会場を訪れた聴衆を魅了しました。

ゲストとして、前年度優勝者や日本舞踊の若柳流静舞会の皆さんが出演し、会場に花を添えました。

各部の優勝者は次のとおりです。一般の部、小野直美さん(湯川村)、ジュニアの部、松本莉奈さん(福島市)

家造りの伝統を今に伝える

鶴峰団地で昔ながらの建前を再現



久しぶりの建前に、参加した皆さんの興奮も最高潮

町が建設を進めている町営住宅鶴峰団地の上棟式は9月10日、現地で開催され、関係者らが建設中や竣工後の建物の無事を祈りました。式典終了後には1~4号棟の各棟でもちや大根などがまかれ、建前を楽しみに訪れた皆さんが、笑顔でもちを拾いました。

【上棟式とは】※上棟式は、日本で建物を新築する時に実施する神道の祭祀。建物の骨組みが完成した時に催される。別名は建前、棟上げ。おなじみの屋根の上からもちやお金を投げる儀式には「散餅銭の儀」という立派な名前がある。家を建てたときの大きな厄災を避けるために、もちや小銭をまき、他人に持って帰ってもらおうとしたのが始まりという説がある。

交通安全、防犯で恩返しを

浪江町の官野市郎さんらに感謝状



土屋教育長(右)から感謝状を受け取った官野さん(左)

児童・生徒の交通安全活動に対する感謝状贈呈式は9月16日、町教育委員会教育長室で執り行われました。感謝状は、浪江町から本町に避難している間、町内の児童・生徒の安全のために、毎朝街頭に立った官野市郎さんと畠山義輝さんに送られたものです。

レクサイド磐光での避難生活中も自治会長を務めるなど、多方面で活躍する官野さんは「猪苗代町には多くの浪江町民がお世話になった。その感謝の気持ちと恩返しの意味を込めて街頭に立った。交通事故や犯罪のない安全な猪苗代町を作るため協力したい」と感謝を述べました。